

十条北ブロック 第16回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成28年12月14日(水) 14:00~15:35
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	部会役員：松岡部会長、小池副部会長、石原役員 事務局：北区 十条まちづくり担当課 岩本課長、徳田主査、荻野、根本 コンサル：地域総合計画研究所 森井、齋藤、三浦 オブザーバー：北区 土木政策課 整備係 富塚係長、梶川
参加者	10名(部会役員を除く)
議題等	1. 開会あいさつ 2. 防災ふれあい広場整備検討ワークショップ ○ガイダンス ○ワークショップ 3. 今後の予定 4. 閉会あいさつ
	
【第16回十条北ブロック部会の様子】	

議事要旨

1. 開会あいさつ

——十条北ブロック部会長あいさつ——

これより第16回の十条北ブロック部会を始めたいと思います。この度、区で広場用地を確保してくれたということで、そこをどのような広場にしていくのか、本日のワークショップで話し合っていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 防災ふれあい広場整備検討ワークショップ

——ガイダンス——

防災ふれあい広場整備検討ワークショップを行うにあたり、事前のガイダンスとして次の説明を行った。

- (1) ワークショップの目的
- (2) 区が取得した広場用地の紹介
- (3) 2年前のワークショップの振り返り
- (4) 防災広場の整備事例

——ワークショップ——

○テーマ

「防災ふれあい広場」整備のためのワークショップ

○実施目的

- ・区が取得した広場用地（上十条5-25-9）を周知し、地域の皆さまと防災ふれあい広場の整備案について意見交換を行う。
- ・防災ふれあい広場に必要な設備などについて、地域の皆さまからご意見いただき、今後の整備内容を定める上での参考とする。

2つのグループに分かれ、それぞれ次の手順でワークショップを行った。

【step1】住民の皆さんが考える“広場”とは？（10分程度）

【step2】それぞれの考えを整理してみよう（15分程度）

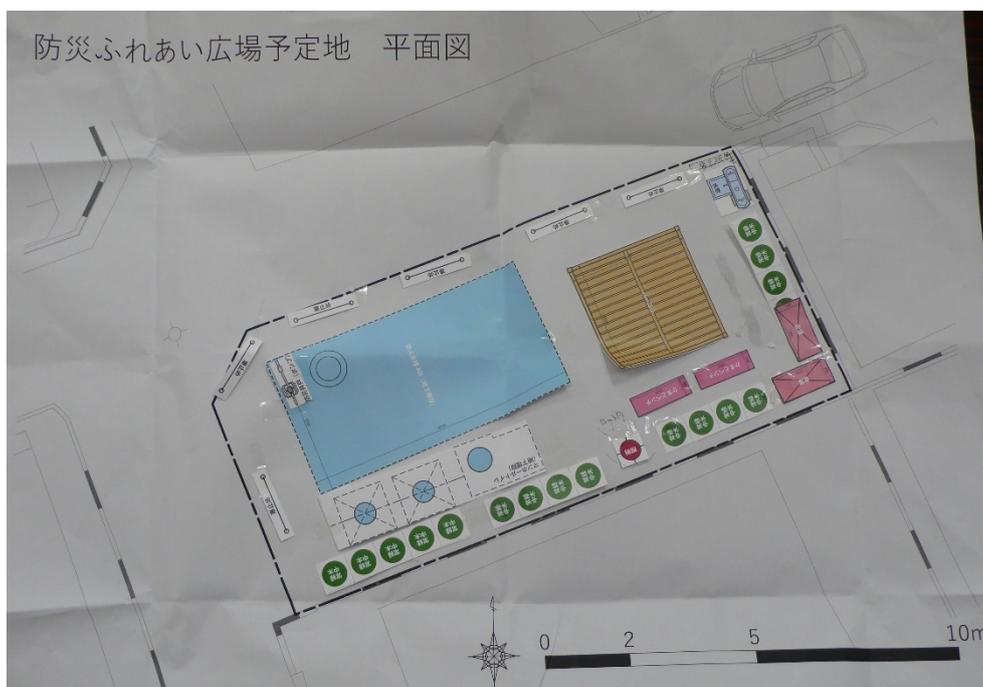
【step3】実際の広場をイメージしてみよう（15分程度）

【step4】グループ内で発表の準備（5分程度）

【step5】グループ発表（各グループ5分程度）

——グループ別発表のまとめ——

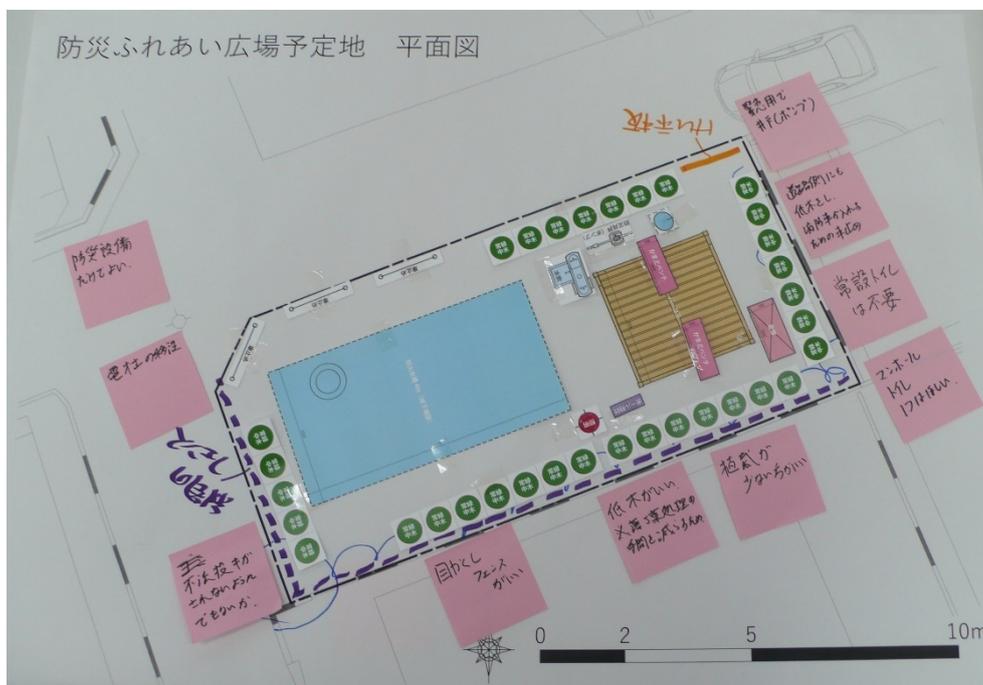
<Aグループ>



- ・広場整備の一番の目的は、火災の危険の高いこの地域に「防災広場」をつくること。
- ・設備としては、防火貯水槽は必ず設置したい。
- ・緊急時にシートで覆って避難所としても使えるパーゴラが必要。パーゴラは、夏の日除けにもなる。
- ・可能であれば、防火貯水槽の水を汲み上げる防災井戸（ポンプ）を設置したい。
- ・人と人が触れ合う場所も大事だが、100㎡程度の広場なので、なるべくいろいろなものは置かないほうがよい。
- ・常設のトイレは必要ないが、マンホールトイレは2～3基必要。
- ・倉庫は、2つ程度を隣地境界側に設置したい。
- ・日常時には、子どもも利用するので、水飲み場くらいはあるとよい。

- ・隣地の建物側に灯りが向かないよう配慮した照明が必要。
- ・敷地境界には、できれば中木の常緑樹を植えるのがよい。
- ・消防車が広場で活動できるように、道路側の2方向とも、可動式の車止めを設置するなどして開放されているのがよい。
- ・町内会の掲示板を道路側に設置してほしい。

<Bグループ>



- ・設備としては、防災設備が揃っていればよい。
- ・防火貯水槽を必ず設置したい。
- ・緊急時に1基のマンホールトイレを設置したい。常設のトイレは必要ない。
- ・緊急時に井戸（ポンプ）があるとよい。
- ・広場周辺の方々への配慮もしっかり考えたほうがよい。
- ・隣地の住宅との境界には、目隠しフェンスを設置したい。境界に植える植栽については、周辺の方々へ落ち葉処理の迷惑がかからないように、常緑の低木がよい。
- ・管理の手間を考慮すると植栽は少ない方がよく、大きな樹木も必要ない。
- ・敷地西側の道路沿いは、ゴミの不法投棄がされないようフェンスを設置したい。
- ・現在、勝手に広場整備予定地に入り転回する車が多数いる。車に転回されないように、敷地北側の道路沿いには低木を植え、緊急時には消防車が入れるように、車止めを設置したい。
- ・敷地の北西角に残る電柱は、消防車が入れるように移設してほしい。
- ・その他設けたい設備：防災井戸、倉庫（管理用）、かまどベンチ（2基）、水飲み場、照明設備（ソーラータイプ含む）、時計（ソーラータイプ含む）、パーゴラ、掲示板

3. 今後の予定

次回（第17回）のブロック部会は、平成29年2月～3月の開催を予定し、内容としては防災ふれあい広場の管理方法について話し合う予定である旨を伝えた。

——質疑応答——

参加者：今のままだと、勝手にロープを外して車が転回する上に、ゴミの不法投棄がされているので、広場周辺の方々のためにも、仮囲いを早く設置していただきたい。

参加者：敷地内の雑草もしっかり対応していただきたい。

北区：仮囲いを設置できるように関係部署と調整していく。また敷地内の雑草の管理については、防草シートを敷くことができるかなど、関係部署と検討させていただきたい。

4. 閉会あいさつ

——十条北ブロック副部長あいさつ——

2年前にモデル敷地でのワークショップを行いました。今回実際の広場整備予定地でのワークショップを行ったわけですが、大いに盛り上がりましたね。今後、皆さまのご意見がどのような形で整備に反映されていくのか、楽しみにしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。これをもちまして、第16回ブロック部会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

以上

十条北ブロック 第17回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成29年3月16日(木) 14:00~15:35
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	部会役員：松岡部会長、小池副部会長 事務局：北区 十条まちづくり担当課 岩本課長、徳田主査、荻野、根本 コンサル：地域総合計画研究所 森井、齋藤、三浦 オブザーバー：北区 土木政策課 整備係 富塚係長、梶川
参加者	11名(部会役員を除く)
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 前回ワークショップのおさらい 3. 防災ふれあい広場の管理等について 4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 主要生活道路A路線の拡幅線形決定について (2) 主要生活道路B路線の拡幅線形の検討状況について (3) 十条まちづくり基本構想の修正について 5. 閉会あいさつ
	
【第17回十条北ブロック部会の様子】	

議事要旨

1. 開会あいさつ

——十条北ブロック部会長あいさつ——

本日は日中のこのような時間にお集まりいただきありがとうございます。今回は防災ふれあい広場の管理について、皆様で話し合いを進めていただきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 前回ワークショップのおさらい

第16回ブロック部会のワークショップにて提案のあった、Aグループ及びBグループの整備案を、図面にて参加者全員で確認を行った。

3. 防災ふれあい広場の管理等について

——区内の事例紹介——

北区内に設置された2つの広場である「上三ふじ広場」「西部つどい広場」を例に挙げ、それ

それぞれの広場で行われている具体的な管理方法である、「北区と町会による共同管理」、「北区による管理」の概要を紹介し、両者のメリット・デメリット等を説明した。

-----グループディスカッション-----

前回同様2つのグループに分かれ、それぞれのグループで以下の事項について、意見交換を行った。

<広場の管理に関する事項>

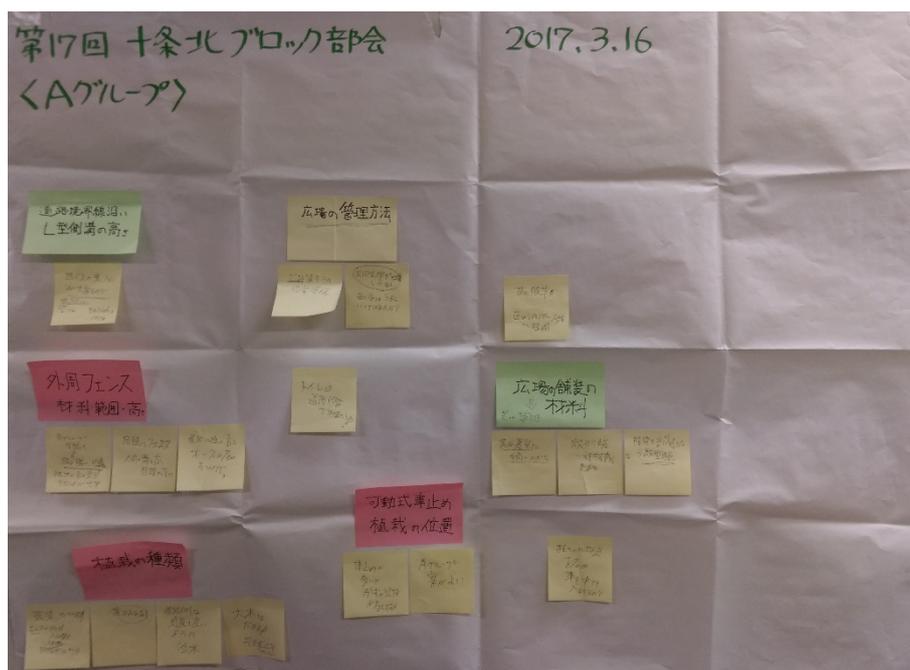
- 管理方法は「北区と町会の共同管理」もしくは「北区管理」のどちらがよいか？

<広場の設備に関する事項>

- 外周フェンスの材料・範囲・高さについて
- 可動式車止め・植栽の位置について
- 植栽の種類について
- 防災井戸の設置位置について
- 広場の舗装整備の材料について
- 道路境界線沿い設置のL型側溝の高さについて

-----グループ別発表のまとめ-----

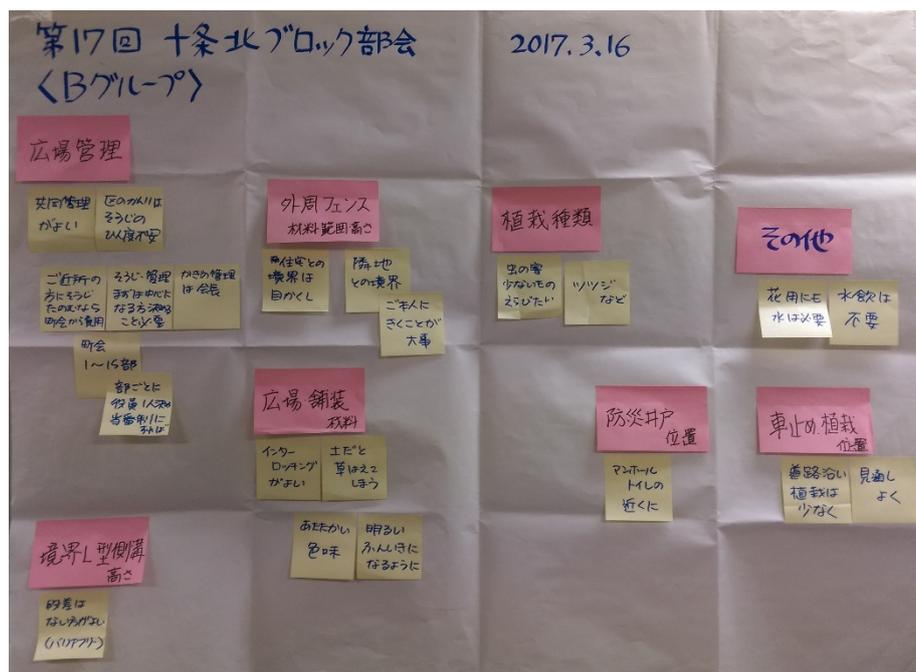
<Aグループ>



- ・西部つどい広場は、北区が基本的に管理しているが、緊急時を想定し、倉庫や車止めの鍵は町会が管理しているようだ。いざという時に区と町会との連携は上手く行くのだろうか。
- ・町会管理は、日常的なゴミの清掃がきちんと続けられるかが課題となる。結局、誰か特定の個人に負荷がかからないように工夫することが大切である。
- ・他の公園を見ていると、公園の除草は、区がシルバー人材センターに依頼しているようだが、町会が全ての管理を行うとなると結構大変な作業になる。
- ・除草作業の負担を勘案すると、舗装については、草の生えない成形板を使用するのがよい。
- ・芝生は望ましいが、芝生を植えると手間がかかるうえに、養生期間が必要で使用できない期間が結構長い。

- ・成形板の舗装材でも土の部分はあるので、雑草は生えてくる。
- ・災害対応の際の救急車の乗り入れや救急活動等を勘案すれば、公園の舗装は、土や芝等よりしっかりした成形板の方がよい。
- ・敷地の道路側における植込みやプランターなどの植栽設置は、管理に手間がかからないように少ない方がよいと思うので、Aグループ案がよい。
- ・Aグループ案では車止めが多いので鍵の管理も大変になる。Bグループ案との折衷的な方向で検討してほしい。
- ・広場内での植栽剪定作業を考慮すると、業者の車が広場内に入れるようにしておく必要がある。
- ・管理上大きな木は必要ない。中木まで。道路側は、見通しをよくするため低木にするのがよい。
- ・花壇は、3～4か月に一度の土の入れ替えや肥料を与える手間などを考えると、設けないほうがよい。
- ・隣地との境界に植栽を設置することは、虫や落ち葉のことで迷惑をかけることもあるので、人の目線の高さくらいまでの目隠しフェンスを設置するのがよいと思う。ただし、最終的には隣接の方の意見を伺った上で決めたほうがよい。
- ・道路のL型側溝の縁の高さは、入口部分は2cm、それ以外は排水等を勘案し10cm程度とする。
- ・Aグループとして希望する管理方法は、「北区と町会との共同管理」の方向で進める。

<Bグループ>



- ・区が管理する公園を見ていると、清掃の頻度が少なく不安になる。仮に町会が管理するとなると、清掃を中心に行う人を決める必要があると思う。
- ・近所の方に清掃を頼むのであれば、町会が費用負担をすることも考えられる。
- ・町会は15の班から構成されているため、清掃作業の中心となる役員を一人決め、15班による当番制とすることも考えられる。
- ・車止めや倉庫の鍵の管理は、やはり町会長にお願いするのがよいのではないかと。
- ・植栽は、虫の害を考慮しないでよいものを選んでほしい。ツツジなどがよいのでは。
- ・道路沿いの植栽は出来るだけ少なくし、見通しをよくするのがよい。

- ・広場の舗装や材料は、土だと草が生えてくるため、インターロッキング等の成形板がよい。設置する成形板は、暖かい色味で明るい雰囲気になるようにしてほしい。
- ・防災井戸は、マンホールトイレの近くに設置する。
- ・花の水やりが必要となるので、そのための設備も考慮してほしい。ただし、水飲み場は不要である。
- ・隣地の住宅との境界には何らかの目隠しが必要となるが、基本的には隣地の方の意見を伺って決めることが大事である。
- ・道路のL型側溝の縁の高さは、バリアフリーに考慮して決めてほしい。
- ・Bグループとして希望する管理方法は、「北区と町会との共同管理」がよい。

-----区からの連絡事項-----

広場の設計整備に併せて、今後は上十条五丁目町会の皆さまで、広場の名称案を検討いただきたい旨を伝えた。

4. 報告事項

北区より、以下3点についての報告を行った。

- (1) 主要生活道路A路線の拡幅線形決定について
- (2) 主要生活道路B路線の拡幅線形の検討状況について
- (3) 十条まちづくり基本構想の修正について

-----質疑応答-----

参加者：A路線沿道の空き家が除却された土地で、新たに6軒の住宅の新築が進んでいる。「A路線の幅員は6mに」ということで勉強会なども行っているのに、新築される住宅は中心から3m後退せずに建ってしまう。このことがどうしても納得がいかない。

北区：住宅市街地総合整備事業で行う道路整備は、任意で進めるものであるため、法律に基づく後退をさせることはできない。ただし、建築している事業者には、購入される方へ道路事業について説明していただきたいと伝え、併せて勉強会の資料を渡している。今後個別訪問等を行い、道路事業にご理解ご協力いただくように努めていく。

参加者：B路線には高低差が大きいところがあるが、どのように整備を進めるのか。

北区：区としても道路の立体的・詳細な設計が必要と判断し、平成29年度に予備設計を行う予定にしている。

5. 閉会あいさつ

-----十条北ブロック副部長あいさつ-----

皆さまご苦勞様でした。今日は「広場の管理」というテーマでグループごとにディスカッションしていただき、闊達な意見交換が行われました。上十条五丁目の長年の希望としては、上十条五丁目の中心に広場を整備してもらおうことでした。平成31年には完成するという事で私も楽しみにしております。今年度当部会で皆さんと話し合った内容については、広場設計を行う過程で検討され、図面に反映されるのではないかと推察します。来年度、区には広場設計の結果を報告いただきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

十条北ブロック 第18回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成29年9月27日(水) 13:30~15:00
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	部会役員：松岡部会長、小池副部会長 事務局：北区 十条まちづくり担当課 徳田主査、濱崎、小栗 コンサル：地域総合計画研究所 森井、齋藤、三浦 オブザーバー：北区 土木政策課 整備係 富塚係長、梶川
参加者	9名(部会役員を除く)
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 前回のおさらい 3. 防災ふれあい広場基本設計案について 4. 質疑応答 5. 閉会あいさつ
	
【第18回十条北ブロック部会の様子】	
<p>議事要旨</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>——十条北ブロック部会長あいさつ——</p> <p>皆さん、こんにちは。本日は、ご多忙中、ご参加いただき、ありがとうございます。ただいまより、第18回十条北ブロック部会を始めます。</p> <p>さて、昨年度は区が取得した広場用地を対象に、ご参加いただいた皆さまと整備案について意見交換をするための「ワークショップ」を2回に渡って行い、広場に求める姿について、皆さまとの意見交換を通じて、2つのグループ案としてまとめました。</p> <p>本日の部会は、北区から、そのグループ案を基にした設計案がまとまったとの報告を受けまして、お集まりの皆さんとイメージ共有、さらには設計への提言をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>2. 前回ワークショップのおさらい</p> <p>第17回ブロック部会においてまとめられたAグループ及びBグループの整備案(最終案)を、図面にて参加者全員で確認を行った。</p>	

3. 防災ふれあい広場基本設計案について

——基本設計内容の紹介——

北区土木政策課整備係より、基本設計案に関する内容を説明した。

——グループディスカッション——

前回と同様の2グループに分かれ、それぞれのグループで以下の事項について、意見交換を行った。

<優先的に整備が必要な設備の順位付け>

- 防災関連設備について
- その他の設備について

——グループ別発表のまとめ——

<Aグループ>



○防災関連設備の優先順位

- ①防火貯水槽
- ②かまどベンチ
- ③マンホールトイレ、ソーラー照明灯、パーゴラ・テント収納ベンチ

○その他の設備の優先順位

- ①水飲
- ②透水性ブロック舗装
- ③町会掲示板
- ④目隠しフェンス
- ⑤ポール時計、植栽

○広場の名称について

- ・名称には“上五”を付けるのが大事である。
- ・名称は、人と人とのふれあいが大事であることから「上五ふれあい広場」が考えられるが、防災を趣旨とした広場であることから「上五防災広場」の方がよいと思う。
- ・人と人とのふれあいと防災ということから、やや文学的な表現にもなるが「上五防災ふれあい広場」がよい。

○主な意見

- ・Aグループの防災関連設備の優先順位を決めるに当たっての基本的な考え方は、そもそもの広場整備の目的が、火災に対して危険な地域における「防災広場」を整備することにあることから、広場をつくる大義は防火貯水槽をつくることにある。
- ・消防ポンプが1つ保管できるようにしたいが、備品倉庫に入るものか。
→現在提示している備品倉庫の大きさでは、消防ポンプは入らない。仮に大きな備蓄倉庫を設置すると、他の施設配置が難しくなる。(区)
- ・水飲の蛇口は、銭湯にあるような出しっ放しにならないものがよい。写真にある3つの蛇口は不要で、2つ程度でよい。
- ・消防自動車は広場内に進入できるのか。
→可動式車止柵のある車両出入口の幅は3m程度あるが、広場内への進入は難しい。従って、可動式車止柵の前に横付けしての活動となる。(区)

<Bグループ>



○防災関連設備の優先順位

- ① 防火貯水槽
- ② 井戸ポンプ、マンホールトイレ、ソーラー照明灯 (セットで)

○その他の設備の優先順位

- ① 目隠しフェンス、生垣 (セットで)

②透水性ブロック舗装

③町会掲示板

○広場の名称について

- ・名称には“上五”を付けたい。

○主な意見

- ・防火貯水槽の設置が予算的に難しいのであれば、容量が20tのものなど小さなものにも検討し、貯水槽自体は是非設置したい。
- ・井戸ポンプ、マンホールトイレ、ソーラー照明灯の3点は、セットで設置されているとよい。また、女性にとって災害時のトイレの問題は切実なので、マンホールトイレは必ず設置したい。
- ・前回のブロック部会でもBグループの意見として出されたが、水飲の必要性は低い。
- ・目隠しフェンスと生垣とは合わせて設置し、隣家の窓の高さを考慮した高さの生垣となるよう、隣家の住民とも十分に相談してもらいたい。
- ・備品倉庫は90度向きを変えて設置できないか。
- ・ポンプ(D1)があるとよいが、倉庫のサイズとの取り合いで設置ができないようであればしやうがない。

——部会としての設計案に関する提言——

北区からは、本日いただいたご意見を部会からの提言として受け止め、設計の検討を進める旨を伝えた。

4. 質疑応答

参加者：優先順位で示した設備案の中には、予算の都合で削られるものもあるのか。

北区：その可能性は否定できない。今後庁内に持ち帰って検討することになるが、皆さまからいただいた防災設備に特化した公園施設の設置を念頭に、庁内調整することになる。年が明けてからご報告できるかと思う。

5. 閉会あいさつ

——十条北ブロック副部長あいさつ——

掲示板には部会の案内が貼られていましたが、今日の時点ですでに剝がされているものもあるようでした。開催日までは必ず貼ってあるようにしてください。

この間、広場に関しては構想から計画へと案も相当進化してきました。平成31年度に是非完成させていただきたいと思います。

本日の設計案に関するワークショップをとおして、今回も活発な意見交換ができたかと思えます。これで、第18回十条北ブロック部会を終了といたします。

次回は整備案がお披露目されると聞いておりますので、多くの方に協議会に参加していただくとともに、協議会活動へのご協力をよろしく願いいたします。ご参加いただいた皆さま、また関係者の皆さま、本日は、ありがとうございました。

十条北ブロック 第19回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成30年2月9日(金) 14:00~15:30
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	部会役員：松岡部会長、小菅副部会長代行 事務局：北区 十条まちづくり担当課 岩本課長、濱崎、小栗 コンサル：地域総合計画研究所 森井、齋藤、三浦 オブザーバー：北区 土木政策課 整備係 富塚係長、梶川
参加者	10名(部会役員を除く)
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 前回のおさらい 3. 防災ふれあい広場実施設計案について 4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 主要生活道路A路線の取組み状況 (2) 主要生活道路B路線の取組み状況 (3) 生活道路1号線の取組み状況 5. 質疑応答 6. 閉会あいさつ
	
	【第19回十条北ブロック部会の様子】
議事要旨	<p>1. 開会あいさつ</p> <p>——十条北ブロック部会長あいさつ——</p> <p>皆さん、こんにちは。平成23年からまちづくりに参加させていただき、早いもので19回目ということになりました。本日、テーブルの上には広場の設計関係の図面が置かれていますが、年度が替われば早いうちに工事に入るといよいよお話も、先ほど区の方からありました。我々の考えも反映させていただき、よりよい広場を作っていただきたいと思います。本日はよろしくお願ひします。</p> <p>2. 前回のおさらい</p> <p>第18回ブロック部会においてAグループ及びBグループでまとめられた、設備の優先順位に関する意見、広場の名称に関する意見を参加者全員で確認した。</p>

3. 防災ふれあい広場実施設計案について

——実施設計内容の紹介——

北区土木政策課整備係より、実施設計案に関する内容を説明した。

——グループディスカッション——

前回と同様の2グループに分かれ、それぞれのグループで区より提示された実施設計案の内容について意見交換を行った。

——グループ別発表のまとめ——

< Aグループ >



○実施設計案の全体的評価について

- ・これまでグループで議論し提案・要望した内容が、概ね実施設計案には盛り込まれている。

○備品倉庫について

- ・備品倉庫は、日常は鍵がかかるようになるのか。

→ 日常は鍵がかかっている。(区)

- ・備品倉庫の中には、日常はマンホールトイレのカバー等を収納するようだが、スタンドパイプも収納したい。倉庫の中の空間の隙間や、引っかけられる棚などを設置し、スタンドパイプを収納できるよう工夫したい。広場ができ上がった後に検討する。

○管理用ダストボックスについて

- ・管理用ダストボックスの利用方法や管理はどうなっているか。

○広場のイメージについて

- ・明るく開放感があることが大事である。

○管理用ダストボックスについて

- ・管理用ダストボックスは一般には使用できないとのことだが、町会で掃除を行った際などのゴミをどうするかは気になるところである。

- ・鍵の管理をどうするかについて、だれが鍵を所有するかを含め今後相談していきたい。

- ・ダストボックスの設置箇所は、できれば隣家の窓の前は外していただきたい。本日提示いただいた図面で、ダストボックスと倉庫の位置とを入れ替えられないか。

→ダストボックスは移動可能だが倉庫は固定することになるため、施工の際に改めて相談させていただきたい。(区)

○植栽について

- ・植栽の水やりは区が行ってくれるのか。

→区で行うことは難しい。他の広場でも区が水やりを行っている事例はない。

○広場の管理について

- ・管理で気になるのは、ゴミが捨てられてしまうのではないかとということ。特に近隣の人にとっては気になるところである。

→区と町会の共同管理とすることで議論を進めてきたが、実際は区があまり手をかけられないという実情はある。(区)

○町会掲示板について

- ・町会掲示板は、掲示物が掲示しやすいよう配慮いただきたい。

- ・建物の建替えなどでこれまであった掲示板もなくなってしまったので、是非掲示板は設置していただきたい。

4. 報告事項

北区より、以下3点についての報告を行った。

- (1) 主要生活道路A路線の取組み状況
- (2) 主要生活道路B路線の取組み状況
- (3) 生活道路1号線の取組み状況

5. 質疑応答

特になし

6. 閉会あいさつ

——十条北ブロック部会長あいさつ——

長時間に渡り、いろいろとご意見をいただきありがとうございました。特に広場周辺にお住まいの方々からは忌憚のないご意見をいただき、よりよい広場ができればと思っています。これで概ね案がまとまったということですので、今後は我々がいかに活用していくかが課題になってくると思います。今後ともよろしくお願ひします。本日は、ありがとうございました。

十条北ブロック 第20回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成30年11月1日(木) 14:00~15:30
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	<p>部会役員：松岡部会長、小菅副部会長</p> <p>事務局：北区 十条まちづくり担当課 石本課長、徳田主査、濱崎、小栗 十条駅西口再開発事務所 井越所長、山崎主査、鈴木</p> <p>コンサル：地域総合計画研究所 齋藤、三浦</p> <p>オブザーバー：北区 土木政策課 整備係 荒井係長、梶川</p>
参加者	7名(部会役員を除く)
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 前回のおさらい 3. 議題 <ul style="list-style-type: none"> ○防災ふれあい広場整備概要について 4. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ○十条駅西口駅前広場整備方針について ○地震に関する地域危険度測定調査について 5. 閉会
 <p>【第20回十条北ブロック部会の様子】</p>	
<p>議事要旨</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>——十条北ブロック部会長あいさつ——</p> <p>本日は第20回の北ブロック部会ということで、お集まりいただきありがとうございます。上十条五丁目地内の防災ふれあい広場について、これまで議論を重ねてきましたが、防火貯水槽の搬入が難しいといったことも小耳にはさみました。そのあたりを踏まえた広場の整備概要やスケジュールについての説明のほか、十条駅西口駅前広場整備方針についての報告もありますので、皆様からご意見をいただければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>2. 前回のおさらい</p> <p>第19回ブロック部会において、Aグループ及びBグループから出された実施設計案に対する意見の概要を参加者全員で確認した。</p>	

3. 議題

——防災ふれあい広場整備概要について——

北区土木政策課整備係より、防災ふれあい広場の整備概要や整備スケジュールについて説明した。

——質疑、意見等——

参加者：防火貯水槽を設置する目的はどこにあるのか。

北区：災害時だけでなく、日常の消防活動にも使えるもの。区の計画としては、理想は適切な距離をとって公園（広場）を配置し、そこに1つずつ防火貯水槽を設置していきたいと考えている。

参加者：消火栓もあるが。

北区：災害時、水道が供給できているとは限らない。貯水槽が設置できる場所では、できるだけ設置する方向で考えたい。

参加者：今年9月に工事着工予定だったものが、結局は来年4月着工になるということ。状況は理解したが、どうするかと問われても答えようがない。可能な範囲で、なるべく大きなものを設置してもらえればということになる。工種が多くてできないのであれば、一部をカットするというのを考えるべきなのかもしれない。

北区：公園工事の工種としては、貯水槽設置のほか、マンホールトイレ、井戸ポンプ、植栽、水飲み、透水性ブロック舗装など、多様な施工業者が入ることになる。狭い敷地であるため同時に複数業者が現場に入ることができず、工事期間が長くなるということである。工事の工種をいくつかやめればそれだけ施工は容易となるが、しかし広場に植栽をまったく植えないというわけにもいかない。

参加者：これまで（昨年度）は「何が必要か、やりたいか」ということで議論を行ってきた。「何ができる」ということであれば、担当する業者と話し合っ決めてもらいたい。

北区：工事業者の入札辞退の理由を聞いてみたが、住宅が近接しており、今回の施工を行う敷地では深さ約4.5mの掘削が必要となり、そのことに対して会社としてリスクが大きいとのこと。

また、施工時期が年度末になり労務を確保できないということも理由となっている。

もう一点、公園の敷地面積に対して工種が多く、他工種とのラップ作業ができないため、実行予算が割高となるとのことであった。

参加者：できることが何なのかを、区から提示してもらいたい。住民側としてはそれで了解するしかない。

北区：設置可能な貯水槽の大きさや、「何ができるか」を工種に注目して検討した上でお示しすることとしたい。

4. 報告事項

北区より、以下2点についての報告を行った。

○十条駅西口駅前広場整備方針について

○地震に関する地域危険度測定調査について

-----質疑、意見等-----

○十条駅西口駅前広場整備方針について

参加者：駅前広場はいつできるのか。だいぶ先の話なのではないか。

北区：今年度中に設計を完了させ、平成31年度には着工予定である。昨年、再開発組合も設立しており、関係者の合意形成に向け動いているところである。

参加者：現在、赤羽駅前には「トレセン最寄り駅」であることをうたった標識がある。距離的には十条駅の方が近いため、そのあたりも頑張ってもらいたい。

参加者：駅前広場としての広さは現状並みなのか。

北区：車道の範囲は今の駅前広場に近い。それ以外に、歩行者ゾーンを広く設けている。再開発ビルも敷地いっぱいには建つことはないため、さらに広い空間が出現することとなる。地下には自転車駐車場が設置されるので、それに合わせた植樹や使い方を考えている。

○地震に関する地域危険度測定調査について

参加者：十条北ブロックは、木造が多く道路が狭いということ。

参加者：上十条三丁目が進められているような「共同建替え」が他でもできればよいが。

北区：行政として声かけをすることはできるが、実際に合意が得られるかというところがある。

参加者：上十条五丁目は、個々の敷地がそれなりに広いように思う。

参加者：建て売りになると、広い敷地が分割されて狭くなる。2軒と見て見ていると3軒建つこともある。

参加者：セットバックしてくれるのであれば、それはそれでよい。

参加者：この地域は、耐震ブレーカーの配布対象となっていないことは疑問である。

5. 閉会あいさつ

-----十条北ブロック副部長あいさつ-----

長時間に渡り、いろいろとご意見をいただきありがとうございました。部会員から伝えたいことはすべてお伝えしましたので、あとは区の方にお任せしたいと思います。また次回ブロック部会に向け、今後ともよろしくお願ひします。本日は、ありがとうございました。